

令和8年度庄原市若年層教員研修会

令和8年8月18日（火）14:00～16:35 庄原市ふれあいセンター

市内1年目から5年目までの教諭を対象に、学級経営を進めていく上で大切な視点を明確にし、児童生徒の相互の人間関係づくりや教員と児童生徒の信頼関係づくりなど、学級経営を充実させていく上で必要な技能を身に付けことを目的に研修会を行いました。

【講話・交流】「学級経営について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長 伊澤 知弥

○「学級」とは、学校における児童生徒の様々な活動の基盤としての役割を果たす場、学習の場であるとともに生活の場、他者と共生しながら自己実現を進めていく場である。「心の居場所」「心理的安全性の高い空間」である必要がある。
○人間関係づくり、学級集団づくり、教室環境づくり、保護者連携について自分の実践を振り返り、学級経営の充実に向けて力を入れて取り組んでいることや困っていること、悩みなどをグループ（同経験年数・学校種別）で交流した。



【講話・演習】「すべての子供たちが安心できる学級づくり」

広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 戸高 真也 様

○「すべての子供たち」とは誰を指しているのか。「安心できる学級」とはどんな学級なのか。子供たち一人一人のことを考え、「安全と信頼が導く安心」を目指していかなければならない。
○1年の間で心配な時期や1日の中で心配な時間はあるか。何よりも大切なのは子供たちの命である。課題予防的生徒指導の充実を図る必要がある。
○子供たちに「期待」をもって接する。教師に伸びる、できると期待されている子供は大きく成長する。
○「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを指導者として意識して実践できているか。指導者が実践することで子供たちにも伝わる。また、定期相談、チャンス相談などの機会を効果的に使い、子供たちの安心感の形成と信頼関係の構築に努めることが大切である。



【参加者の感想等】

- ・気になる子への対応に追われ、「すべての子供たち」という視点を見落としていたかもしれない。一人一人の子供たちとしっかりと関わっていきたい。
- ・子供たちに自らの期待が伝わるように声掛けや授業づくりを頑張りたい。
- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉にハッとした。自分自身が範を示すように改めて意識していきたい。
- ・子供を信じる、子供に期待する、子供に愛情を持って接するなど、本当に自分はできていたのだろうか改めて考えることができた。
- ・同期の人と交流する中で、同じ悩みを抱えていることや様々な取組をしていることを知ることができ、自分も頑張ろうという気持ちが大きくなった。